

LPガス  
人と地球にスマイルを

# ちば「炎の仲間」

発行

一般社団法人千葉県LPガス協会広報委員会  
〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1  
TEL 043-246-1725  
FAX 043-243-6781  
E-mail: chibalpg@chibalpg.or.jp  
http://www.chibalpg@chibalpg.or.jp

10月10日 LPガスの日  
LPG車の日

## 平成26年度 9月支部長会を開催

平成26年度支部長会が、去る9月16日(火)午後1時30分より千葉県ガス石油会館において開催されました。青年委員会より「火おこし」の実演がされました。

### 【横山一洋会長あいさつ要旨】

今年の夏も全国各地で大雨等による災害が相次ぎました。

特に、大惨事となった広島市の土砂災害ですが、新聞情報によれば、被害のあった安佐(あさ)地区は、LPガスと簡易ガスのエリアだったこともあり、LPガス容器約350本、ガスメーター約100個、調整器約80個が損傷、流出、埋没などの被害を受けたとのことでした。

そのため、関東ブロック連合協議会では、広島県LPガス協会に対して、お見舞金を贈呈いたしました。

また9月6日には、九都県市による合同防災訓練の千葉県会場訓練が南房総市で行われましたが、安房支部の方々には、事前の準備も含め、大変お疲れ様でした。

協会のブースには、森田知事や遠山防災危機管理部長も訪れ、「LPガス発電機」のデモを御覧になりながら、森田知事は「災害時に、発電機は必要だ」と話しておられました。

### 【議事内容】

議題1 千葉県高圧ガス保安大会協会長表彰者の推薦について (審議事項)

事務局より各支部から推薦された候補者の報告があり、優良事業所6支部6事業所、優良従業員9支部9名について表彰することが承認された。

議題2 都市ガス会社との協定内容について (報告事項)

平成26年度の都市ガス会社との協定内容について報告された。

議題3 発電機の寄贈状況等について (報告事項)

8月末時点のLPガス発電機の各市町村への寄贈状況等の報告がされた。

また、各支部に対して避難所となる小中学校へのLPガス冷暖房(GHP)導入の市町村への働きかけについて、10月中に要望書を提出いただくことを依頼した。

議題4 自主保安活動チェックシートの提出状況等について (報告事項)

会員に7月末までに提出いただきました標記チェックシートの集計結果及び各支部ごとの得点分布について報告を行った。

(全体の得点分布表を4ページ掲載)

なお、LPガス自主保安計画書を作成し、その内容を実施することが保安レベルの向上につながるため、各自作成いただくようお願いした。

議題5 平成25年度中の都市ガス液化石油ガス等による事故状況について (報告事項)

標記資料について報告があった。

議題6 火おこしの実演等(【人を育むLPガス】)について (報告・実演事項)

青年委員会より火おこしの実演が行われた。また「炎の出前教室」の今後の実施について報告された。(記事3ページ掲載)

議題7 その他

広報委員会よりお知らせメールの配信を9月中に行うことの報告がされた。

また活動便りを中心にある程度記事がまとまった時点で配信するとともに突発的な行政機関からの通達があれば即時配信させていただくことを報告した。

## 九都県市防災訓練実施

第35回九都県市合同防災訓練の千葉県主会場訓練は、9月6日(土)、南房総市和田町の和田地域福祉センター前で約130機関が参加し、実施されました。

訓練は、「房総沖を震源とするマグニチュード8.2の地震が発生し、南房総市では震度6強で建物の倒壊や道路の損壊、ライフラインも麻痺。また高さ8メートルを超える津波が押し寄せ、甚大な被害が出ている。」との想定で始まりました。

沿岸の地域事情を反映し、海上訓練では、津波で海に流された被災者を救うための訓練が、また地上でも県警、自衛隊、消防レスキューが懸垂降下

し、傷病者を運び出したり、警察犬や救難犬が倒壊家屋の中から生存者を見つけ出したりする等本番さながらの訓練が続きました。



主会場では訓練の他に、防災フェアが開催され当協会安房支部が参加し、保安啓発のパネル・バナー展示やLPガス発電機のデモを行い、消費者にLPガスの安全性や、災害に強いLPガスをアピールしました。

森田県知事も会場を訪れ、協会小

沢正順理事がガス発電機について説明を行い、県及び54市町村にLPガス発電機を寄贈している旨を伝えました。また、テント内では青年委員会協力のもと早川茂マイスターが中心となり、「火おこし」体験が行われました。子供達だけでなく、多くの大人も参加し、皆、古代人になって道具を用い火おこしを大いに楽しみました。

安房支部の皆様には大変御尽力いただきありがとうございます。



業界最新情報は全L協事務局通信から！ アクセスは協会HPより！

# お知らせ CHIBAちば コーナー

防災危機管理部産業保安課 保安対策室

1 県では関係事業所の防災意識の高揚や一般消費者等への啓発等を目的とした高圧ガス保安活動促進週間関連行事を下記のとおり実施します。

皆さまの御協力・御参加をよろしくお願ひします。

## (1) 千葉県高圧ガス保安大会

### ① 日時

平成26年10月22日(水)  
14時から

### ② 場所

三井ガーデンホテル千葉 3階「平安」  
千葉市中央区中央1-11-1  
(TEL 043-224-1131)

### ③ 主催

千葉県、一般社団法人千葉県LPガス協会、一般社団法人千葉県高圧ガス保安協会、一般社団法人千葉県冷凍設備保安協会、千葉県冷凍空調設備協会、千葉県高圧ガス流通保安協会

### ④ 表彰

千葉県知事表彰、一般社団法人千葉県LPガス協会会長表彰、一般社団法人千葉県高圧ガス保安協会会長表彰、一般社団法人千葉県冷凍設備保安協会会長表彰、千葉県冷凍空調設備協会会長表彰、千葉県高圧ガス流通保安協会会長表彰

### ⑤ 記念講演

講師：黒田 クロ氏(漫画家、漫遊書家、イラストレーター、講演家)

## (2) 空気呼吸器装着訓練

### ① 目的

毒性ガスによる災害事故が発生した場合に、事業所の従業員が適切な防災活動を行えるよう、空気呼吸器の適切な装着と迅速な作業方法を習得することを目的とする。

### ② 日時

平成26年10月8日(水)  
13時から

※ 荒天の場合は10月10日(金)

### ③ 場所

千葉県消防学校  
(千葉市中央区仁戸名町666-2)

### ④ 主催

千葉県、千葉県高圧ガス地域防災協議会

### ⑤ 訓練方法

#### i 想定

液化塩素50kg入り容器のバルブが損傷し、塩素ガスが噴出したため、

空気呼吸器を装着して容器に防災キャップを取り付け、塩素ガスの漏えいを防止した後、負傷者を見出し、担架で搬送する。

#### ii 訓練内容

1 チーム2名で行い、保安帽、革手袋を装着した状態でスタートして、空気呼吸器を装着し、トンネルをくぐり、リング、防災工具を使用して容器に防災キャップ等を取付けた後、2名で担架を運ぶ。

## (3) 高圧ガス輸送車等防災訓練

### ① 目的

高圧ガス輸送車の移動中における事故を想定して訓練を実施することにより、地域住民への二次災害の発生及び拡大を防止する処置を習得し、警察及び消防機関並びに防災事業所の協力体制を確立するとともに、関係事業所の防災意識の高揚及び地域住民への啓発を図ることを目的とする。

### ② 日時

平成26年11月7日(金)  
13時から

### ③ 場所

市川塩浜駅周辺地区再整備事業用地  
(市川市塩浜2丁目3番1)

### ④ 主催

千葉県、千葉県高圧ガス地域防災協議会

### ⑤ 参加機関

千葉県、市川市、千葉県警察、市川市消防局、千葉県高圧ガス地域防災協議会、一般社団法人千葉県LPガス協会、一般社団法人千葉県高圧ガス保安協会、一般社団法人千葉県冷凍設備保安協会、千葉県高圧ガス流通保安協会

### ⑥ 訓練項目

- i アンモニアガス漏えい時の処置訓練
- ii 空気呼吸器装着訓練
- iii 高圧ガスの実験
  - ア モノシランガス燃焼実験
  - イ LPガス・カートリッジ缶等の破裂燃焼実験
  - ウ アセチレン逆火実験
- iv 酸素・液化石油ガス輸送車防災訓練

## 2 食品工場及び業務用厨房施設における一酸化炭素中毒事故の防止について

近年、食品工場及び業務用厨房施設において都市ガス及び液化石油ガス(以下「ガス」という。)の消費設備による一酸化炭素中毒事故が発生しています。平成25年は4件(死者1名、症者6名)発生しており、平成26年は6月末現在で、すでに2件(死者0名、症者8名)発生しています。これらの事故原因は換気が不十分で、消費設備が不完全燃焼を起こし、一酸化炭素が発

生したものです。

このような状況の中で、経済産業省商務流通保安グループ高圧ガス保安室長及びガス安全室長から平成26年7月7日付けで標記件名の通知がありましたので、県では、一般社団法人千葉県LPガス協会に平成26年7月16日付け産保第1096号で通知したところです。

食品工場及び業務用厨房施設において一たび一酸化炭素中毒事故が発生した場合、従業員のみならず来店者をも巻き込む可能性があることから、換気、点検、手入れ、業務用換気警報器設置等の重要性について、業務用厨房の所有者、従業員、アルバイト等の理解を促すことが重要です。

食品工場及び業務用厨房施設におけるガスの消費設備による一酸化炭素中毒事故を防止するため、下記の注意事項について、ガスの消費設備の使用者及び管理者に対して注意喚起をお願いします。

### [注意事項]

① ガスの消費設備の使用中は必ず換気(給気及び排気の両方)を行うこと。

なお、現場において換気し忘れを防止するための工夫を実践すること。

② ガスの消費設備の使用開始時及び使用終了時に当該設備の異常の有無を点検するほか、1日に1回以上、ガスの消費設備の態様に応じ、当該設備の作動状況について点検し、異常のあるときは、当該設備の使用中止、補修その他の危険を防止する措置を講ずること。

③ ガスの消費設備及び換気設備を、日頃から手入れすること。

④ 排気ガス中に含まれる油脂等を有効に除去するために排気取入口に設置されるグリス除去装置(グリスフィルター)や、悪臭防止のために排気ダクト内に設置される脱臭フィルター等は、使用し続けると油脂等が付着して目詰まりを起こし、十分な換気量が確保できなくなることから、当該フィルターの定期的な清掃又は交換を実施すること。

⑤ 万一の不完全燃焼に備えて業務用換気警報器の設置が望ましいこと。

## 3 山小屋における一酸化炭素中毒事故防止に関する注意喚起について

平成26年7月29日(火)に山梨県の山小屋(富士山八合目、標高約3,400m)において、従業員1名が死亡する一酸化炭素中毒事故が発生しました。

(3 ページに続く)

お知らせコーナー(続き)  
防災危機管理部産業保安課 保安対策室

事故原因は、本来は屋外で使用することになっているR F式(Roof top flue:屋外式)風呂釜を屋内に設置し使用したため、不完全燃焼で発生した一酸化炭素が浴室内に充満し、一酸化炭素中毒事故となったものと考えられます。

このため、今回の事故と類似の事故の再発を防止するため、経済産業省商務流通保安グループガス安全室長から平成26年8月7日付けで標記件名の通知がありましたので、県では、一般社団法人千葉県LPガス協会に平成26年8月13日付け産保第1324号で通知したところです。

ガスを燃料とする風呂釜、給湯器及び業務用こんろ等の燃焼器を使用する山小屋の

需要家に対し、下記の注意事項を喚起するようよろしくお願いいたします。

【注意事項】

- ① 屋外用の風呂釜及び給湯器は、屋内で使用しないこと。
- ② 排気筒を設置する必要がある風呂釜及び給湯器等の燃焼器は、排気筒を設置すること。
- ③ 屋内用の風呂釜、給湯器及び業務用こんろ等の燃焼器を使用する際、換気が不十分な場合は、不完全燃焼により一酸化炭素が発生し、危険であるため、十分に換気を行うこと。
- ④ 標高の高い場所(概ね標高800mを超える場所)において風呂釜、給湯器及び業務用こんろ等の燃焼器を使用する場合は、メーカー又は機種によって使用できない場合があるた

め、使用する場所(標高)において対応可能な機器であるかを確認すること。

- ⑤ 風呂釜、給湯器及び業務用こんろ等の燃焼器を使用する場合は、使用する前に「取扱説明書」をよく読み、使用上の注意を守り、正しく使用すること。
- ⑥ 万一の不完全燃焼に備えて一酸化炭素警報器の設置が望ましいこと。
- ⑦ LPガス販売事業者等による保安業務の実施が困難な山小屋等に対する質量販売について、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則第17条に基づく特則承認に基づいて、山小屋等に対する質量販売の保安の確保のための業務を確実に実施すること。

～青年委員会便り～

- ・火育マイスター講習会
- ・平成26年度廃棄ガスメーター回収運動収益金の寄付

青年委員会では、7月18日(金)に大阪ガス(株)本社にて全L協主催により開催された「火育マイスター講習会」に委員・OB等を含め13名が参加し、資格を取得してきました。

「火育マイスター」とは、IHクッキングヒーターも広まり、「火を見る機会がない」「火を扱ったことがない」という子どもたちが増えているなか、火おこし体験などを通じて、子どもたちに「火と人との関わりや火の大切さ」を伝える火育活動の実施・指導、コーディネートができる人材です。

本年度は、北海道LPガス協会青年委員会の「炎の出前教室」を基にした授業を、県内の小学校で実施することを事業

計画として委員会活動を行っており、次のとおり実施が決定しました。本番に向けて実行委員会を設置し準備を進めてまいります。

- 平成26年 9月24日(水)  
市市立八幡小学校 6年生  
(実施済)
- 平成26年10月 8日(水)  
神崎町立神崎小学校・米沢小学校  
6年生

授業は、DVDやクイズを使って「人間と火の歴史、環境問題等」について勉強してもらった後、火おこしも体験してもらいます。

また活動日よりや会報等でご報告させていただきます！！



次に私たち青年委員会が平成12年度から「社会貢献」を目的に行っている廃棄ガスメーター回収運動の収益金から本年度も下記のとおり寄付をしました。今後とも会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

寄付日	寄付先	金額
7月15日	九都県市防災訓練開催地(安房支部)	10万円
〃	千葉県社会福祉協議会 交通遺児援護基金	10万円
7月24日	(公社)千葉県緑化推進委員会 千葉県緑化基金	10万円
平成26年度寄付金 合計額		30万円

エネファーム普及促進セミナー

平成26年8月28日(水)に千葉商工会議所にて14時から一般社団法人燃料電池普及促進協会(FCA)の主催で開催され、60名の方が受講されました。

まず資源エネルギー庁・省エネルギー・新エネルギー部燃料電池推進室の星野昌志室長補佐よりこれから多岐にわたる水素の活用により、大幅な省エネルギー、環境負荷低減に大きく貢献できることで、その意味でLPガスから水

素と酸素を化学反応させて電気と熱を発生させるエネファームを普及させる取り組みが必要であるとの話でありました。

次に全国LPガス協会より今年度はエネファーム1万台普及を目標として掲げており、エネファーム販売へのアプローチとして点検業務の際に提案いただくことが販売へつながるとの内容でありました。

またコージェネレーション・エネルギー高度利用センター燃料電池より「エネファーム既築営業のポイントと普及支援活動について」の説明がありま

した。最後に燃料電池普及促進協会よりエネファームに関する補助金の申し込み進捗状況が7月末時点で39%であり、申請されるころは早めに提出いただきたいとのことでした。



支部便り：海匠支部

飯高壇林跡

(術)片山商店 片山義雄氏

私が住んでいる飯高には国指定重要文化財「飯高壇林跡」があります。

ここは、1580年から1874年まで法華経のお坊さんの学問所で日本最古の大学であり、今の立正大学発祥の地です。当時の壇林は、全8課程で入学してから全課程修了まで36年間かかったそうです。この大講堂は、千葉県で一番大きな重要文化財の建物です。入口の総門から奥の大講堂までの境内は大きな杉並木が続きます。ゆっくりと歩いていると大自然の中に抱かれて、ゆったりとした時が流れ、心も体も癒されます。

壇林では、春は「新緑祭」秋は「壇林コンサート」が開かれ、沢山の人が訪れます。裏庭には、大輪の花を咲かせるボタン園もあります。

近くには、水戸黄門様が壇林を訪れた時に記念に植えられた黄門桜があり、今でも春にはきれいな花を咲かせています。山桜なので、花の咲く時期が少し遅いです。

すぐ近くには、もう一つ関東では1番で日本でも5指に入る、安久山の大シイという大きな椎の木があります。幹回りが12.2mもあり樹齢約1,000年とも言われています。この樹の根は板根と言われ木から足のように生えていて今にも歩き出しそうな異様な光景です。

この裏庭から下に降りられる道を行くと里山の谷津田の田園風景が広がり、



見渡す限り、電柱が1本も立っていない珍しい風景が見られます。

ここは個人の庭になりますので挨拶してから見学して下さい。5月の連休にはオープンガーデンをやっている、コンサートが開かれます。こんな大自然に囲まれたいい所に住んでいますので、ストレスも溜まらず、のんびりと暮らしています。

改正省エネ基準勉強会

平成26年9月12日(金)にオークラ千葉ホテルにて標記勉強会が開催され、80名の方が受講されました。

当協会防災アドバイザーの荒尾博氏より、改正省エネ基準によって今後リフォーム事業の工事をするにあたり、大きな影響が出ることについて詳細に解説いただきました。



自主保安活動チェックシート

会員の皆様方にご協力いただきました標記チェックシートについて、集計いたしました得点状況は下記のとおりです。提出数834事業所(提出率97.8%、平均59.4点)

なお自主保安計画書(HPに掲載)を各位で作成いただき、保安レベルの向上につとめていただきたいと思います。

得点分布一覧表

点数	件数	比率
0~10	5	0.6%
11~20	6	0.7%
21~30	17	2.0%
31~40	55	6.6%
41~50	149	17.9%
51~60	180	21.6%
61~70	244	29.3%
71~80	117	14.0%
81~90	51	6.1%
91~100	10	1.2%
合計	834	100.0%

お知らせメールの配信について

6月にご案内いたしました「お知らせメール」を9月26日に配信いたしました。

申込みいただきました方々には、準備の関係上お待たせ致しましたことをお詫び申し上げます。

なお、これから登録の申込みを希望される方は順次受付をしておりますので、下記までお願いします。

[kouhou@chibalpg.or.jp](mailto:kouhou@chibalpg.or.jp)

件名「お知らせメール希望」  
下記内容を記載して、送信願います。

支部名・事業所名・担当者名・連絡先(Tel)

「デング熱」

編集後記を書くに当たり題材を考えていた矢先、日本国内で70年ぶりに、海外渡航歴のない人にデング熱感染のニュースが飛び込んできた。デング熱とはデングウィルスに感染したヒトスジシマカに刺されることによって生じるウイルス感染症で、蚊に刺されてから3日から14日(多くは4日から7日)の潜伏期間の後、高熱(38度から40度)・頭痛・眼窩痛・関節痛・筋肉痛・発疹などを呈する病気です。初め3名の感染がニュースとなったが、9月初旬現在74名にも上っており、代々木公園の封鎖等拡大してきています。

今年を振り返ってみると、今年6

月24日には、東京都三鷹市、調布市、世田谷区などでは、午後2時半ごろ直径3センチ程度の雹が降り、多いところでは30cm以上積もった。住宅街に大量の雹が積もり、道路が一面真っ白になり、冷気が立ち上っている映像を見た方も多と思います。

また、8月中旬には台風12号、11号が連続して上陸し、特に四国地方の雨は凄まじく、高知では降り始めから3日間の総雨量が、安芸郡馬路村魚梁瀬では1081mmを記録し、交通の遮断・家の損壊等被害をもたらした。さらに、平成26年8月19日夜から20日未明にかけて日本海に停滞する前線に暖かく湿った空気が流れた事に起因し、広島市を中心に局地的な被害

をもたらし、複数の土砂被害、並びに人的被害が起きました。被害に遭われた方には心から哀悼の意を表します。

今年起こった異常気象を挙げてみましたが、これらは地球が悲鳴を上げて、環境を揺り戻しているように感じます。昔から自然の回復力は良く言われますが、この回復力があるうちに、我々もライフスタイルを考えていく時期に来ていると思います。ガス・電気の垣根を越えた、そして再生可能エネルギーを利用した、ベストミックスを志向していきませんか。

秋元 利文

空家の充てん容器は必ず撤去しましょう